

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-61519

(P2003-61519A)

(43)公開日 平成15年3月4日(2003.3.4)

(51)IntCl.⁷

A 01 K 85/10

識別記号

F I

A 01 K 85/00

データコード(参考)

D 2 B 1 0 7

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全9頁)

(21)出願番号 特願2001-250823(P2001-250823)

(22)出願日 平成13年8月21日(2001.8.21)

(71)出願人 500411212

株式会社デブス

京都府京都市西京区御陵大枝山町5丁目23
-6

(72)発明者 奥村 和正

京都府京都市西京区御陵大枝山町5丁目23
-6 株式会社デブス内

(74)代理人 100067301

弁理士 安藤 順一

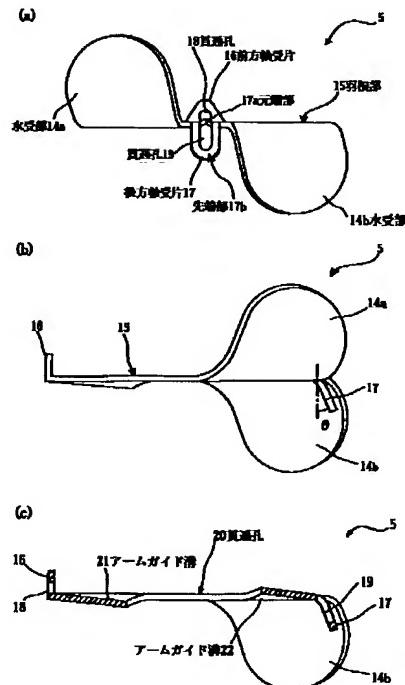
Fターム(参考) 2B107 BA44 BA49 BA66 BB01

(54)【発明の名称】 バズベイトルアー

(57)【要約】

【課題】 ブレイドに水流抵抗を受けていない状態にあっては該ブレイドの回転によって振動や激しい音が発生して高い集魚効果を發揮し、該ブレイドに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレイドがアームに対してスムーズに回転するバズベイトルアーを提供する。

【解決手段】 ブレイドの後方軸受片のアームが通る貫通孔を略楕円形状に形成すると共に該後方軸受片をブレイドの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設させることにより、該ブレイドに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレイドが該アームの軸線に対して偏心を繰り返して振れながら回転して振動や激しい音が発生し、一方、該ブレイドに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレイドが該アームの軸線に対して偏心せずにスムーズに回転する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】先端部に形成された釣糸結着部と該釣糸結着部から後方へ伸びるアームと該アームに回動可能に軸着されたブレードと該ブレードの後方に位置付けて該アームに軸着されたビーズと該アームの後端部に固着される錘と該錘に連結されるフックとからなるバズベイトルアーであって、前記ブレードは該ブレードの羽根部に立設された前方軸受片と後方軸受片とに前記アームを通して該アームの軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、該後方軸受片は該アームが通る貫通孔が略楕円形状に形成されていると共に該ブレードの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設されており、該ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心を繰り返して振れながら回転し、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心せずに回転することを特徴とするバズベイトルアー。

【請求項2】先端部に形成された釣糸結着部と該釣糸結着部から後方へ二股状に伸びるアームと該二股状アームの一方のアームに回動可能に軸着されたブレードと該ブレードの後方に位置付けて該一方のアームに軸着されたビーズと該二股状アームの他方のアームの後端部に固着される錘と該錘に連結されるフックとからなるバズベイトルアーであって、前記ブレードは該ブレードの羽根部に立設された前方軸受片と後方軸受片とに前記一方のアームを通して該一方のアームの軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、該後方軸受片は該一方のアームが通る貫通孔が略楕円形状に形成されていると共に該ブレードの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設されており、該ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心を繰り返して振れながら回転し、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心せずに回転することを特徴とするバズベイトルアー。

【請求項3】前記ブレードにおける後方軸受片が羽根部に対して垂直に立設した状態から傾斜角 $5^{\circ} \leq \theta \leq 30^{\circ}$ で後方へ傾斜している請求項1又は2記載のバズベイトルアー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、釣りにおいて使用されるバズベイトルアーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】周知の通り、釣りに使用される疑似餌の一種であるバズベイトルアーは、水面付近を泳動させた際に、該バズベイトルアーに備えられたブレードが水流抵抗を受けて回転し、該ブレードの回転によって発生する音と該ブレード表面における光の反射により、魚の注意を引き付けて集魚効果を高めるものである。

2

【0003】図8に示す従来のバズベイトルアー101は、先端部に形成された釣糸結着部102と、該釣糸結着部102から後方へ二股状に伸びる一方の上側アーム103と他方の下側アーム104と、該上側アーム103に回動可能に軸着されたブレード105と、該下側アーム104の後端部に固着される錘106と、該錘106に連結されるフック107とかなり、前記ブレード105には、図9の(a)及び図9の(b)に示すように、該ブレード105の羽根部108に対して垂直に立設された前方軸受片109と後方軸受片110との元端部側に前記上側アーム103が通る真円形状の貫通孔111, 112がそれぞれ穿設されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前記図8に示す従来のバズベイトルアーにおいては、ブレードの前方軸受片と後方軸受片とに穿設された貫通孔が真円形状に形成されているため、該従来のバズベイトルアーを水面付近で泳動させると、該ブレードの回転が単調になり、これに伴って該ブレードの回転により発生する音も単調なものとなって必ずしも高い集魚効果が得られるものではなかった。

【0005】また、ブレードを上側アームに対してスムーズに回転させるためには、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが上側アームの軸線に対して偏心しないようにする必要があるため、該ブレードの前方軸受片と後方軸受片とに設けられる貫通孔は、必然的に該前方軸受片と該後方軸受片の元端部側に設けられており、これによって該ブレードを該上側アームに対してスムーズに回転させることができるが、該ブレードが該上側アームの軸線に対し偏心することがないため、該ブレードの回転により振動が生じることはなかった。

【0006】そこで、本発明者は、ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては該ブレードの回転によって振動や激しい音が発生して高い集魚効果を發揮し、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードがアームに対してスムーズに回転するバズベイトルアーを得ることを技術的課題として、その具現化をはかるべく研究・実験を重ねた結果、ブレードの後方軸受片のアームが通る貫通孔を略楕円形状に形成すると共に該後方軸受片をブレードの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設されば、該ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対して偏心を繰り返して振れながら回転して振動や激しい音が発生し、一方、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対して偏心せずにスムーズに回転するという刮目すべき知見を得、前記技術的課題を達成したものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】前記技術的課題は、次の

3

通りの本発明によって解決できる。

【0008】即ち、本発明に係るバズベイトルアーは、先端部に形成された釣糸結着部と該釣糸結着部から後方へ伸びるアームと該アームに回動可能に軸着されたブレードと該ブレードの後方に位置付けて該アームに軸着されたビーズと該アームの後端部に固着される錘と該錘に連結されるフックとからなるバズベイトルアーであって、前記ブレードは該ブレードの羽根部に立設された前方軸受片と後方軸受片とに前記アームを通して該アームの軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、該後方軸受片は該アームが通る貫通孔が略楕円形状に形成されていると共に該ブレードの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設されており、該ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心を繰り返して振れながら回転し、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心せずに回転するものである。

【0009】また、本発明に係るバズベイトルアーは、先端部に形成された釣糸結着部と該釣糸結着部から後方へ二股状に伸びるアームと該二股状アームの一方のアームに回動可能に軸着されたブレードと該ブレードの後方に位置付けて該一方のアームに軸着されたビーズと該二股状アームの他方のアームの後端部に固着される錘と該錘に連結されるフックとからなるバズベイトルアーであって、前記ブレードは該ブレードの羽根部に立設された前方軸受片と後方軸受片とに前記一方のアームを通して該一方のアームの軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、該後方軸受片は該一方のアームが通る貫通孔が略楕円形状に形成されていると共に該ブレードの羽根部に対して後方へ傾斜した状態で立設されており、該ブレードに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心を繰り返して振れながら回転し、該ブレードに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレードが該アームの軸線に対し偏心せずに回転するものである。

【0010】さらに、本発明は前記いずれかのバズベイトルアーにおいて、ブレードにおける後方軸受片が羽根部に対して垂直に立設した状態から傾斜角 $5^\circ \leq \theta \leq 30^\circ$ で後方へ傾斜しているものである。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

【0012】実施の形態1.

【0013】図1は本実施の形態に係るバズベイトルアーを示した側面図である。図2は図1に示すバズベイトルアーのブレードを示した図であり、図2の(a)はブレードを示した背面図であり、図2の(b)はブレードを示した側面図であり、図2の(c)はブレードを示した縦断面図である。図3は図1に示すバズベイトルアーの各泳動状態を示した説明図である。図4は図3に示す

4

バズベイトルアーの各泳動状態におけるブレードとアームとの位置関係を示した部分拡大断面図であり、図4の(a)は図3の(a)に示す泳動状態における部分拡大A-A断面図であると同時に、図3の(c)に示す泳動状態における部分拡大B-B断面図であり、図4の(b)は図3の(b)に示す泳動状態における部分拡大縦断面図であり、図4の(c)は図3の(d)に示す泳動状態における部分拡大縦断面図である。これらの図において、1は、先端部に形成された釣糸を結び付ける釣糸結着部2と、該釣糸結着部2から後方へ二股状に伸びる一方の上側アーム(一方のアーム)3と他方の下側アーム(他方のアーム)4と、該上側アーム3に回動可能に軸着されたブレード5と、該ブレード5の前方に位置付けて該上側アーム3の軸線方向に対して滑動可能に軸着された小径球状ビーズ6と、該ブレード5の後方に位置付けて該上側アーム3の軸線方向に対して滑動可能に軸着された大径球状ビーズ7と、該下側アーム4の後端部に固着された小魚状錘8と、該錘8の後端部に連結されるフック9と、該錘8の後部に装着されるスカート10とからなるバズベイトルアーである。

【0014】前記上側アーム3は、釣糸結着部2から斜め上後方へ伸びる傾斜部11と、該傾斜部11の上端部から前記下側アーム4と略平行に後方へ伸びる軸部12と、該軸部12の後端部を屈曲してリング状に形成された後止部13とからなり、該軸部12の前側に軸着された小径球状ビーズ6は、傾斜部11と軸部12との接合部分によって前方への滑動が規制されており、該軸部12の後側に軸着された大径球状ビーズ7は、後止部13によって後方への滑動が規制されている。

【0015】前記ブレード5は、図2の(a)及び図2の(b)に示すように、略ハート形板状部材(図1参照)の一方の半円形状部分を表面側(図2の(a)において上側)に屈曲して一方の水受部14aを形成すると共に、他方の半円形状部分を裏面側(図2の(a)において下側)に屈曲して他方の水受部14bを形成した羽根部15と、該羽根部15の先端部表面側に立設された前方軸受片16と、該羽根部15の両水受部14a、14bに挟まる後端部裏面側に立設された後方軸受片17とからなり、前記前方軸受片16は、羽根部15に対して垂直に立設されていると共に、前記上側アーム3が通る貫通孔18が真円形状に形成されており、前記後方軸受片17は、羽根部15に対して垂直に立設した状態から傾斜角 θ (図2の(b)参照)で後方へ傾斜した状態で立設されていると共に、前記上側アーム3が通る貫通孔19が後方軸受片17の元端部17aから先端部17bへ伸びる略楕円形状に形成されており、前記羽根部15には、図2の(c)に示すように、前方軸受片16と後方軸受片17とが軸着される上側アーム3の軸線上に略楕円形状の貫通孔20(図1参照)が穿設されており、羽根部15表面(図2の(c)において上面)に貫

通孔20先端から前方軸受片16に走るアームガイド溝21が形成されていると共に、羽根部15裏面(図2の(c)において下面)に貫通孔20後端から後方軸受片16に走るアームガイド溝22が形成されている。

【0016】そして、前記ブレイド5は、羽根部15表面側に立設された前方軸受片16の貫通孔18に上側アーム3の軸部12を通した後、該軸部12を羽根部15に穿設された貫通孔20の表面側から裏面側に通し、さらに、該軸部12を羽根部15裏面側に立設された後方軸受片17の貫通孔19に通して該上側アーム3の軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、該ブレイド5は、軸部12に軸着された小径球状ビーズ6により前方への滑動が規制されていると共に、大径球状ビーズ7により後方への滑動が規制されている。

【0017】前記フック9は、図1に示すように、一方端が針状に形成されたステンレス等からなる棒状部材をし字状に屈曲して形成したものであり、他方端が錘8の後端部に連結されており、一方端が該錘8の後方上部に位置付けられている。

【0018】前記スカート10は、ゴムや合成樹脂などからなる線状の軟質部材を束ねて形成したものであり、フック9を覆うように錘8の後部に装着されている。

【0019】次に、使用方法を説明する。

【0020】リールから伸びる釣糸の先端部を釣糸結着部2に結び付けてバズベイトルアー1をブラックバス等が生息している湖や池などにキャスティングする。キャスティングされたバズベイトルアー1は着水後、自重によって水面下に水没するが、リールで釣糸を巻き取ることにより、水面下でブレイド5の両水受部14a、14bに水流抵抗を受けてブレイド5を回転させながら水面付近へ浮上する。

【0021】水面付近まで浮上したバズベイトルアー1は、図3の(a)に示すように、錘8が固着された下側アーム4を水面下に位置付け、ブレイド5が軸着された上側アーム3を水面から突出させた泳動姿勢をとり、ブレイド5の一方の水受部14aを水面下に沈めた状態となる。この時、図4の(a)に示すように、ブレイド5の水受部14bに水流抵抗(図中、矢印Xにて示す。)を受けている状態にあっては、ブレイド5が上側アーム3の後方に押されてブレイド5の後方軸受片17後面が大径球状ビーズ7表面に当接し、さらに、後方軸受片17がブレイド5の羽根部15に対して後方へ傾斜して立設されているため、後方軸受片17の元端部17a側内壁が上側アーム3に接触するまで後方軸受片17が大径球状ビーズ7表面を摺動すると共に、後方軸受片17の傾斜幅Vだけブレイド5全体が上側アーム3の軸線方向に対して後方へ滑動し、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の先端部17b側に位置付けられてブレイド5が上側アーム3の軸線に対して偏心する。また、ブレイド5が滑動する際には、ブレイド5の前方軸受片16及び後方軸受片17と上側アーム3が擦れ合うた

め、接触音が生じる。

【0022】次に、水受部14bが水流抵抗を受け流すことによりブレイド5が回転するため、バズベイトルラー1は、図3の(b)に示すように、前記泳動姿勢を保持しつつ、ブレイド5の両水受部14a、14bを水面上に位置付けた状態となる。この時、図4の(b)に示すように、ブレイド5の両水受部14a、14bに水流抵抗を受けていない状態になるので、ブレイド5の回転により発生する上側アーム3の外方(上方)へ働く遠心力(図中、矢印Yにて示す。)によって後方軸受片17の先端部17b内壁が上側アーム3に接触するまで後方軸受片17が大径球状ビーズ7表面を摺動すると共に、後方軸受片17が羽根部15に対して後方へ傾斜して立設されているため、後方軸受片17の傾斜幅Vだけブレイド5全体が上側アーム3の軸線方向に対して前方へ滑動し、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の先端部17b側に位置付けられてブレイド5が上側アーム3の軸線に対して偏心する。また、ブレイド5が滑動する際には、ブレイド5の前方軸受片16及び後方軸受片17と上側アーム3が擦れ合うため、接触音が生じる。

【0023】さらに、ブレイド5が回転すると、バズベイトルラー1は、図3の(c)に示すように、前記泳動姿勢を保持しつつ、ブレイド5の他方の水受部14aを水面下に沈めた状態となる。この時、図4の(a)に示すように、ブレイド5の水受部14aに水流抵抗(図中、矢印Xにて示す。)を受けるため、前記図3の(a)に示す状態と同様に、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の元端部17a側に位置付けられる。

【0024】次に、水受部14aが水流抵抗を受け流すことによりブレイド5が回転するため、バズベイトルラー1は、図3の(d)に示すように、前記泳動姿勢を保持しつつ、ブレイド5の両水受部14a、14bを水面上に位置付けた状態となる。この時、図4の(c)に示すように、ブレイド5の両水受部14a、14bに水流抵抗を受けていない状態になるので、ブレイド5の回転によって発生する上側アーム3の外方(下方)へ働く遠心力(図中、矢印Zにて示す。)により、後方軸受片17の先端部17b内壁が上側アーム3に接触するまで後方軸受片17が大径球状ビーズ7表面を摺動すると共に、後方軸受片17が羽根部15に対して後方へ傾斜して立設されているため、後方軸受片の傾斜幅Vだけブレイド5全体が上側アーム3の軸線方向に対して前方へ滑動し、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の先端部17b側に位置付けられてブレイド5が上側アーム3の軸線に対して偏心する。また、ブレイド5が滑動する際には、ブレイド5の前方軸受片16及び後方軸受片17と上側アーム3が擦れ合うため、接触音が生じる。

【0025】さらに、ブレイド5が回転すると、バズベイトルラー1は、再び図3の(a)に示す泳動状態となり、以後、前記各泳動状態を順次繰り返しながら水面付

近を泳動する。

【0026】本実施の形態によれば、後方軸受片17を羽根部15に対して後方へ傾斜して立設させると共に、後方軸受片17の貫通孔17を略梢円形状に形成したので、ブレイド5のいずれか一方の水受部14a, 14bに水流抵抗が働く毎に、ブレイド5が上側アーム3の軸線方向に対して後方へ滑動し、ブレイド5の両水受部14a, 14bに水流抵抗が働くなくなる毎に、ブレイド5が上側アーム3の軸線方向に対して前方へ滑動してブレイド5の前方軸受片16及び後方軸受片17と上側アーム3との間で激しい接触音が発生し、魚の注意を引き付けることができる。

【0027】また、ブレイド5のいずれか一方の水受部14a, 14bが水面下に沈み、該水受部14a, 14bに水流抵抗を受けている状態にあっては、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の元端部17a側に位置付けられ、ブレイド5は上側アーム3の軸部12に対して偏心することなくスムーズに回転する。

【0028】さらに、ブレイド5の両水受部14a, 14bが水面上に位置づけられ、ブレイド5の両水受部14a, 14bに水流抵抗を受けていない状態にあっては、上側アーム3の軸部12が後方軸受片17の先端部17b側に位置付けられてブレイド5が上側アーム3の軸線に対し偏心を繰り返して振れるため、該ブレイド5の振動が上側アーム3と下側アーム4とを介して下側アーム4に固定された小魚状錐8に伝わり、小魚状錐8をよりリアルに動かすことができる。

【0029】また、本実施の形態においては、ブレイド5の後方に位置付けて上側アーム3に軸着されるビーズ7を球状にしたので、ブレイド5の後方軸受片17がビーズ7表面を容易に摺動することができ、ブレイド5の回転及び滑動がよりスムーズに行われる。

【0030】なお、前記後方軸受片17の傾斜角θは、5°～30°の間で選択すればよく、好ましくは10°。前後がよい。

【0031】また、後方軸受片17の傾斜角θを大きくすると、これに伴って後方軸受片17の傾斜幅Vも大きくなるため、ブレイド5全体が上側アーム3の軸線方向に対して前後により大きく滑動し、ブレイド5と上側アーム3との間でより激しい接触音を発生させることができる。

【0032】実施の形態2.

【0033】図5は本実施の形態に係るバズベイトルアーを示した側面図であり、図6は図5に示すバズベイトルラーのブレイドを示した図であり、図6の(a)はブレイドを示した背面図であり、図6の(b)はブレイドを示した側面図であり、図7は図5に示すバズベイトルラーの水面付近での泳動姿勢を示した側面図であり、これらの図において、図1～図4と同一符号は同一又は相当部分を示しており、23は、先端部に形成された釣糸

10

20

30

40

を結び付けるリング状釣糸結着部24と、該釣糸結着部24から後方へ伸びるアーム25と、該アーム25に回動可能に軸着されたブレイド26と、該ブレイド26の後方に位置付けて該アーム25の軸線方向に対して滑動可能に軸着された2つの球状ビーズ7, 7と、該アーム25の後端部に固定された小魚状錐8と、該錐8の後端部に連結されるフック9と、該錐8の後部に装着されるスカート10とからなるバズベイトルラーである。

【0034】前記ブレイド26は、図6の(a)及び図6の(b)に示すように、水受部14a, 14bを有する羽根部15と、該羽根部15の先端部表面側(図6の(a)において上側)に立設された前方軸受片27と、該羽根部15の水受部14a, 14bに挟まれる後端部表面側に立設された後方軸受片28とからなり、前記前方軸受片27は、羽根部15に対して垂直に立設されていると共に、前記アーム25が通る貫通孔18が真円形状に形成されており、前記後方軸受片28は、羽根部15に対して垂直に立設した状態から傾斜角θ(図6の(b)参照)で後方へ傾斜した状態で立設されていると共に、前記アーム25が通る貫通孔19が後方軸受片28の元端部28aから先端部28bへ伸びる略梢円形状に形成されている。そして、ブレイド26は、羽根部15に立設された前方軸受片27と後方軸受片28とに該アーム25を通して該アーム25の軸線方向に対して滑動可能に軸着されており、前記釣糸結着部24によって前方への滑動が規制されていると共に、前記錐8により後方への滑動が規制された前記球状ビーズ7, 7によって後方への滑動が規制されている。

【0035】本実施の形態に係るバズベイトルラー23を水面付近で泳動させると、図7に示すように、バズベイトルラー23は、アーム25の後端部に固定された錐8を水面下に位置付け、アーム25に軸着されたブレイド26を水面上に突出させた泳動姿勢をとり、ブレイド26の水受部14a, 14bを交互に水面下に沈めながらブレイド26を回転させる。

【0036】従って、本実施の形態に係るバズベイトルラーにおいても、前記実施の形態1と同様の作用・効果を得ることができる。

【0037】

【発明の効果】本発明によれば、バズベイトルラーを水面付近で泳動させてブレイドが回転すると、該ブレイドに水流抵抗を受けていない状態にあっては当該ブレイドがアームの軸線に対し偏心を繰り返して振れながら回転するから、振動や激しい音が発生し、高い集魚効果を發揮することができるにもかかわらず、該ブレイドに水流抵抗を受けている状態にあっては当該ブレイドがアームの軸線に対し偏心せずにスムーズに回転する。

【0038】従って、本発明の産業上利用性は非常に高いといえる。

【図面の簡単な説明】

50

9

【図1】実施の形態1に係るバズベイトルアーを示した側面図である。

【図2】図1に示すバズベイトルアーのブレイドを示した図である。

【図3】図1に示すバズベイトルアーの各泳動状態を示した説明図である。

【図4】図3に示すバズベイトルアーの各泳動状態におけるブレイドとアームとの位置関係を示した部分拡大断面図である。

【図5】実施の形態2に係るバズベイトルアーを示した側面図である。

【図6】図5に示すバズベイトルアーのブレイドを示した図である。

【図7】図5に示すバズベイトルアーの泳動姿勢を示した側面図である。

【図8】従来のバズベイトルアーを示した側面図である。

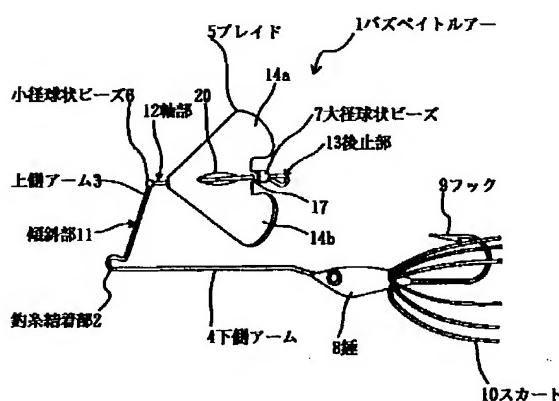
【図9】図8に示すバズベイトルアーのブレイドを示した図である。

【符号の説明】

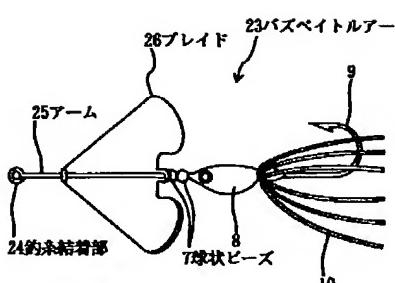
- 1 バズベイトルアー
- 2 釣糸結着部
- 3 上側アーム
- 4 下側アーム
- 5 ブレイド
- 6 小径球状ビーズ

- | | |
|----------------|----|
| 7 大径球状ビーズ | 10 |
| 8 錘 | |
| 9 フック | |
| 10 スカート | |
| 11 傾斜部 | |
| 12 軸部 | |
| 13 後止部 | |
| 14a, 14b 水受部 | |
| 15 羽根部 | |
| 16 前方軸受片 | |
| 17 後方軸受片 | |
| 17a 元端部 | |
| 17b 先端部 | |
| 18, 19, 20 貫通孔 | |
| 21, 22 アームガイド溝 | |
| 101 バズベイトルアー | |
| 102 釣糸結着部 | |
| 103 上側アーム | |
| 104 下側アーム | |
| 105 ブレイド | |
| 106 錘 | |
| 107 フック | |
| 108 羽根部 | |
| 109 前方軸受片 | |
| 110 後方軸受片 | |
| 111, 112 貫通孔 | |

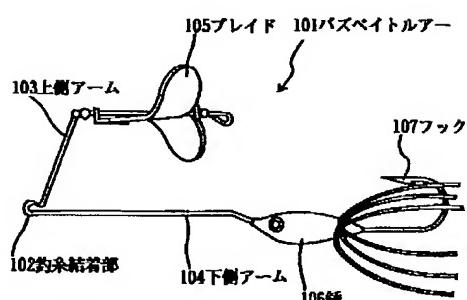
【図1】



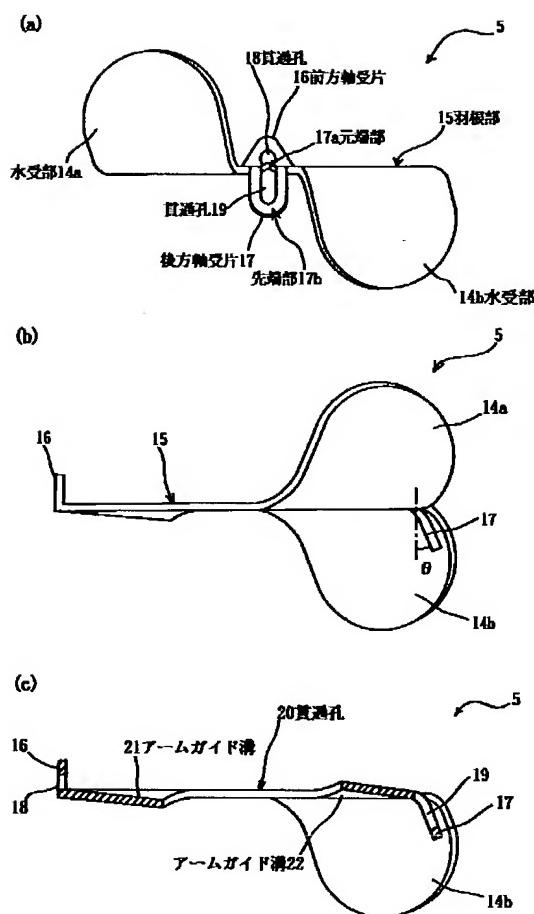
【図5】



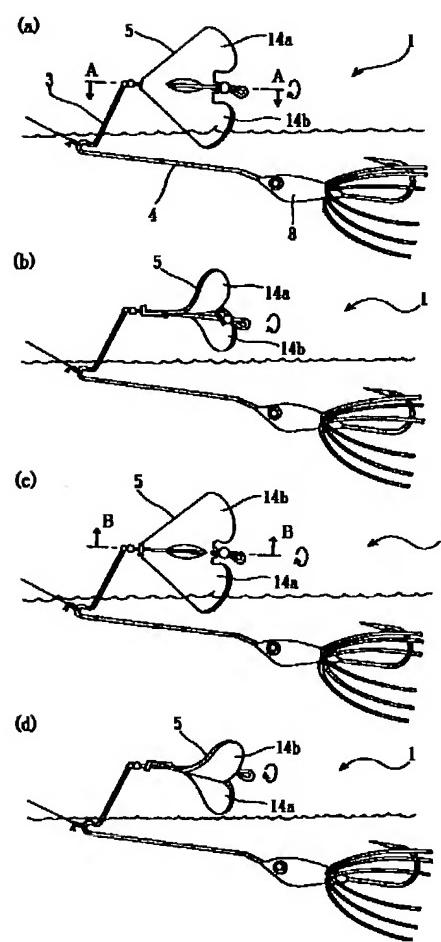
【図8】



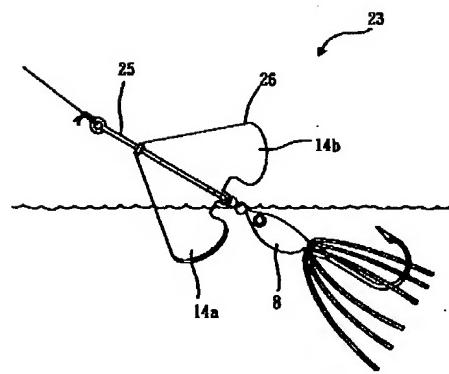
【図2】



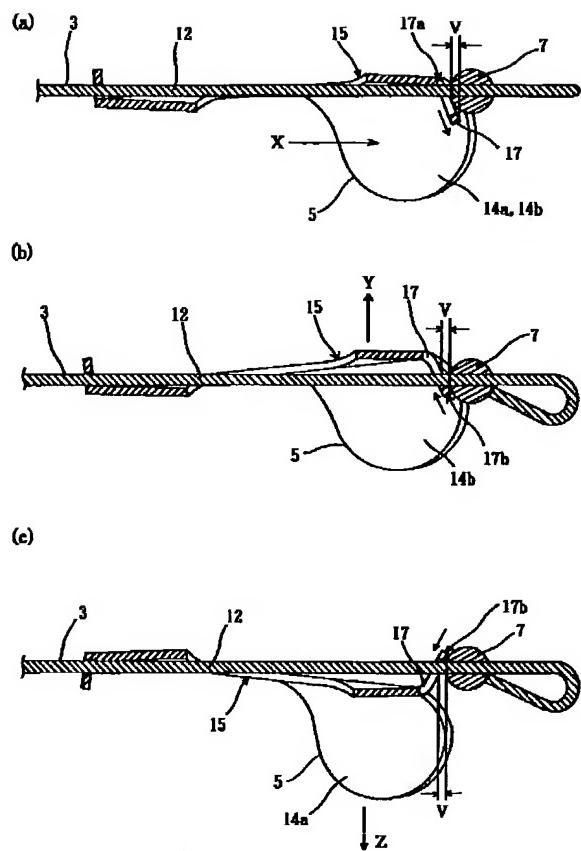
【図3】



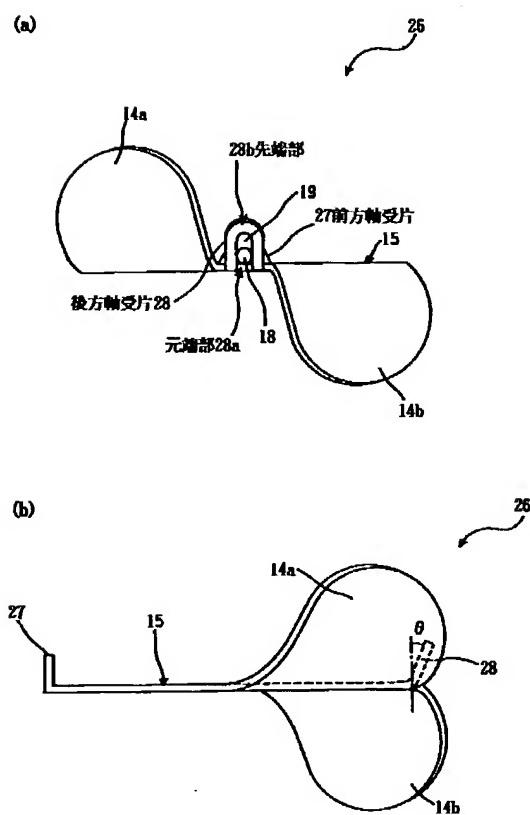
【図7】



【図4】

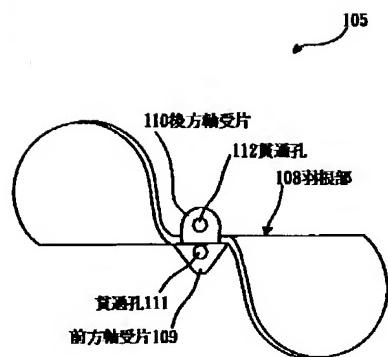


【図6】

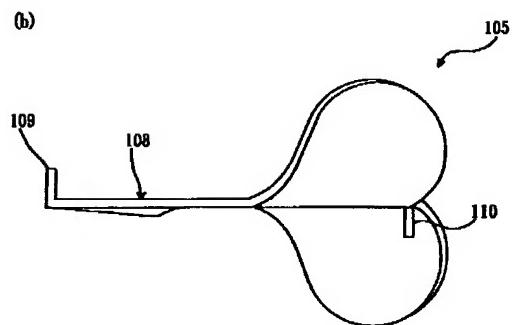


【図9】

(a)



(b)



PAT-NO: JP02003061519A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003061519 A
TITLE: BUZZ BAIT LURE
PUBN-DATE: March 4, 2003

INVENTOR-INFORMATION:
NAME COUNTRY
OKUMURA, KAZUMASA N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
DEPUSU:KK N/A

APPL-NO: JP2001250823
APPL-DATE: August 21, 2001

INT-CL (IPC): A01K085/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a buzz bait lure that can show high fish-gathering effect by generating high vibrations and large noises with blade rotation, when the blade is not exposed to water flow resistance and can smoothly rotate the blade around the arm, when the blade is exposed to the water flow resistance.

SOLUTION: The throughhole through which the arm of the rear bearing piece of the blade passes is formed in an almost oval shape and the rear bearing piece is allowed to stand inclined at an angle backward to the vane of the blade whereby the blade rotates, as it repeats eccentric swing

motions to the axis of
the arm to generate vibrations or intense sound, when the
blade is not exposed
to the water flow resistance. In the meantime, when the
blade is exposed to
the water flow resistance, the blade smoothly rotates
around the axis of the
arm without eccentric motion.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO

DERWENT-ACC-NO: 2003-461863

DERWENT-WEEK: 200344

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Buzz bait lure has braid which is
rotated into axle line
of arm and receives water flow
resistance

PATENT-ASSIGNEE: DEPUSU KK[DEPUN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0250823 (August 21, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2003061519 A	March 4, 2003	N/A
009	A01K 085/10	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2003061519A	N/A	
2001JP-0250823	August 21, 2001	

INT-CL (IPC): A01K085/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003061519A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A braid is rotated into the axle line of an arm
and receives a water
flow resistance.

USE - Buzz bait lure.

ADVANTAGE - Ensures efficient operation of the buzz bait
lure due to the braid.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the
explanatory drawing of the
buzz bait lure. (Drawing includes non-English language

text).

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/9

TITLE-TERMS: BUZZ BAIT LURE BRAID ROTATING AXLE LINE ARM
RECEIVE WATER FLOW
RESISTANCE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-367411